

# 指導事例

## 短編- ①「うちではどうする」

スマホ（スマートフォン）が欲しいという子どもと、それを断りながらも「いつかは必要になるかもしれないけれど、スマホをもたせるのは心配だな…」と悩む保護者の様子を通して、各家庭での子どもとの関わり方について考えます。

### エピソード



## 活用方法

### ポイント

子どもがスマホを欲しがったときの関わり方などを考える教材です。

### 主な対象

小学生の保護者

（登場人物は小学生ですが、スマホ以外にも〇〇を欲しがる子どもを想定したり、子どもと保護者の関わり方を考えることなどにより、対象を広げて実施できます。）

### 時間

30分程度

（「その他の質問」（P6～7）を活用することで、30分以上の実施も可能です。）

### 想定される実施場面

- 保護者が参加するイベント等との組み合わせ
- PTAの会議等の前後
- 懇談会

など、保護者が集まる場面で、30分程度の短時間で実施することを想定しています。また、「その他の質問」を活用することで、1～2時間程度の親学習を企画し、参加者を募って実施することもできます。

# 活動の流れ（30分）

時間	活動内容
7分	<p>◆ <b>導入</b>（P3）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ あいさつ・進行役の自己紹介</li><li>▶ 参加体験型学習のルール確認</li><li>▶ アイスブレイキング・参加者の自己紹介</li></ul>
18分	<p>◆ <b>グループワーク</b>（P4～5）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ エピソード（4コマ漫画）を読む</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>① エピソードを読んでどのように感じましたか？</li><li>② 4コマめで保護者が悩んでいることについて、考えてみましょう。 ※ 時間や目的に応じて、P6～7の「その他の質問」を活用できます。</li></ol>
5分	<p>◆ <b>ふりかえり</b>（P8）</p> <p>今日の話しあいをふりかえりましょう。</p>

## 事前準備

### 資料

#### 資料を準備する

- ・紙の資料を参加者へ配付する場合は、事前に教材を印刷する。
- ・紙の資料を配付せずに、参加者のスマホ等で見てもらう場合は、Webページにつながる二次元コードを準備する。

### グループ分け

#### 受付時など、開始前にグループをつくる

（受付時に）「本日はグループにわかれて実施します。  
○グループの席にお座りください。」

- 1グループが5～6人になるようにあらかじめグループ分けをする
- ・事前に参加者がわかっている場合は、グループ分けをしておく。その際、父親や母親、祖父母など、さまざまな人がグループに入るようにすると、グループワークで多様な意見が出やすくなる。
- ・当日に参加者がわかる場合は、会場に来た方から順にグループを割り当てる方法などが考えられる。

# 導入



## あいさつ 進行役自己紹介

### 進行役の自己紹介をする

「みなさん、こんにちは。」  
「このあと『子育て』についての4コマ漫画を読んで、話しましょう。」  
「わたしは、・・・・・・・・。」

## ルール 確認

### 参加体験型学習に必要な4つのルールについて説明する

「これからの時間の中で、守ってほしいルールが4つあります。」

「参加」：講座に参加するために、できるだけ自分の考えを話すようにする。話したくないことはパスもできる。

「尊重」：人が話している時はしっかり聞く。自分の考えと違っていても話をささげらず最後まで聞く。

「守秘」：この場で聞いたことはこの場限り。他でもらさない。ワークが進むと自分の生い立ちや家庭状況を話す人もいる。安心して話せるように、この場での話は絶対に外にもらさないことを約束する。

「時間」：一人あたりの発言時間を守る。  
参加者全員が話せるように、制限時間内に話を収めるよう気をつける。

## アイスブレイキング 参加者自己紹介

### アイスブレイキングを行う

「アイスブレイキングとして〇〇をしましょう。」

- ・参加者の心をほぐすワーク・ミニゲームなどを行う。
- ・緊張や堅い雰囲気をもたらし、意見を出しやすくしたりする。

### 参加者の自己紹介を行う

「同じグループの方々に自己紹介をしましょう。」

「お名前と、お子様の学年や学級をお伝えください。」

# グループワーク



進行役

## エピソード（4コマ漫画）を読む

「それでは今日の資料を配ります。はじめにエピソードの4コマ漫画を読んでみましょう。」

グループワーク



### 1 エピソードを読んでどのように感じましたか？



進行役

エピソードを読んでどのように感じましたか？気づいたことや感想などを紹介してください。

## 予想される意見



似たようなことがあるという方々

### うちでも同じことがあった

「最近同じことがあった。もたせるのは心配なので、もう少しがまんさせたいけれど、いつごろもたせたらいいのかなあ。」

### 「みんな」って言う

「子どもはすぐに、『みんな』って言う。細かく聞いてみると、2～3人っていうことがよくあるから、子どもの言うことをそのまま受け止められない。」

### スマホ以外でも

「スマホはまだ欲しいと言わないけれど、スマホ以外ではよくある。最近はゲームをよく欲しがるから困っている。」

### うちはもたせない

「うちは中学生まではもたせないと決めて、子どもにも言っている。納得しているのか何も言ってこないなあ。家庭で話しあえばいいのではないかな。」

### スマホは必要だ

「スマホは必要だと思うなあ。すぐに連絡ができるから、うちは安全のためにもたせている。」



その他の意見の方々

### 距離が離れてきた

「このエピソードでは、2人の距離がどんどん離れているように見える。2人の気持ちを表しているのかな。」

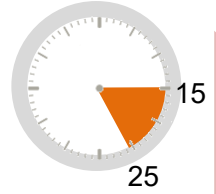


## 進行のポイント

1. はじめの話しあいを、少ない人数で行うと、参加型ワークの抵抗感が少なくなるでしょう。まず、グループのメンバーを2人組（3人組）にわけて話しあい、その後に、2人組（3人組）で出された意見を、グループ全体に紹介してもらおう方法が考えられます。
2. 参加者の感想や意見を聞いて、グループの課題意識を把握し、次のワークにつなげましょう。

## 2

## 4コマめで保護者が悩んでいることについて、考えてみましょう。



進行役

4コマめで保護者が「いつかは必要になるかもしれないけれど、スマホをもたせるのは心配だな…」と悩んでいます。  
この保護者の悩みについて考えてみましょう。意見や感想などを紹介してください。

## 予想される意見

**いつかは必要になるかも**

「習い事もあるから、いつかは必要になるかな。すぐに連絡をとれるし、いいこともあると思う。でも、何年生くらいからもたせたらいいのだろう。」

**トラブルが心配だな**

「スマホのトラブルをよく聞く。どんなふうに使っているかわからなくなりそうだから、もたせるのは心配だな。」

**ルール作りが必要**

「スマホをもたせるにしても、ルール作りが必要。使い方や使用時間などのルールを家族で話しあうことが大切だな。」

**コミュニケーションをとる時間が少なくならないか**

「スマホを使っている時間が増えると、会話が減るかもしれない。家族でのコミュニケーションをとる時間が少なくならないか心配だな。」

**お金と身体に関わることだ**

「スマホは高価なものだから簡単には買えないなあ。それに、視力や姿勢が悪くなるような、身体への悪影響があるんじゃないか。」

**友達はどうかだろう**

「友達はどれくらいもっているのだろう。うちの子だけもっていなくて、仲間はずれにされたらどうしよう。」



## 進行のポイント

1. 意見に偏りがある場合は、違った意見を紹介することで、話し合いが深まります。
2. 各家庭の考え方や意見を尊重しながら、話を聞くことが大切です。
3. 参加者のニーズや課題意識が絞られている場合は、それに合わせた質問に代えて行う方法があります。P6～7の「その他の質問」をご覧ください。

# その他の質問



以下は、「その他の質問」です。参加者のニーズや立場、時間や目的に応じて、③～⑦について話しあってみましょう。

【親学習の時間を 30 分以上確保できる場合】

グループワーク①②の前後に、「その他の質問」を追加することで、話しあいをより深めることができます。

【グループワークをより焦点化したい場合】

グループワーク①②の代わりに、「その他の質問」から選んで質問することで、参加者のニーズに合った話しあいを行うことができます。

## ★「もたせるならいつだろう…」と考える参加者が多い場合

グループワーク

③



進行役

もし、子どもにスマホをもたせるなら、いつごろがいいでしょうか。

予想される意見



「6年生くらいかな。友達がみんなもっているのに、自分の子どもだけもっていなかったら、仲間はずれにされるかもしれないし。」

「4年生ごろかな。一人で習い事に行くタイミングにしようかと思う。連絡ができたり、位置情報がわかったりするから安心だな。」

## ★「もたせるのは心配だな…」と考える参加者が多い場合

グループワーク

④



進行役

スマホをもたせることで、どのような心配がありますか。また、その心配への対策は何でしょうか。

予想される意見



「スマホばかり使って、勉強しなくなるのでは…。使用時間や使用場所などのルールを決めなくちゃ。」

「SNS で知らない人とつながったり、会ったりしないだろうか。課金などお金のトラブルも心配だから、たまに親が使い方をチェックする必要があるな。」

★子どもの気持ちを考える場合

グループワーク

5



進行役

エピソードの子どもの気持ちを考えてみましょう。

予想される意見



「なぜ子どもは泣いていたのだろう。よっぽど欲しかったのか、それとも今  
までずいぶんがまんしていたのかな。」

「どうして欲しいのかな。動画がみたいのかゲームをしたいのか、それとも  
SNS を使いたいのか、もしくは友だちと連絡したいのかな。」

★スマホ以外のものに焦点を当てる場合

グループワーク

6



進行役

スマホに限らず、子どもから「〇〇が欲しい」と言われたらど  
うしていますか。

予想される意見



「ものによるけど、『ダメ』っていうことが多いかな。そのあと、周りに聞  
いてみたり、調べたりして子どもと相談することもあるな。」

「話を聞いてみて、考えるかな。安いものだったら、すぐを買ってしまうこ  
ともあるかも。少し高いものだと誕生日までがまんさせるかな。」

★「意見の違い」について考える場合

グループワーク

7



進行役

子どもと保護者とで意見が違う場合は、どのようにしています  
か。

予想される意見



「話しあうことが大事。家族全員の意見を聞いて、納得できるように話がで  
きたらいいな。」

「子どもの意見を聞くことも大切だとは思うけど、まだまだ子どもだから、  
親の意見をつい押し通している。」

# ふりかえり



今日の話しあいをふりかえりましょう。



進行役

ありがとうございました。  
最後にみなさんの思いを共有しましょう。  
一人ずつ順番に、今日の感想をお願いします。

## 予想される感想

「いろいろな悩みがあるけれど、私だけが悩んでるんじゃないとわかって、安心できた。」

「話を聞いてもらえてスッキリした。」

「もっと話したいと思った。親同士でこうした話をする機会はあまりないから、とても参考になる。」

「結局どうしよう…。自分や子どもに合う答えを見つけるのは難しいな。」

「各家庭で考えは違うんだな。他の家庭の考え方も参考にして、子どもと話しあってみようと思った。」

「このエピソードの保護者みたいに、あまり子どもの話を聞かずに、否定しがちな。これからは気をつけようと思った。」

「スマホ以外の話もしたいと思った。ゲームや習い事、帰宅時間とか、気になることは他にもたくさんある。」



## ふりかえりのポイント

1. ふりかえりでは、ここまでの話しあいをふまえて、エピソードからはなれ自分の身近な事象として捉えて考えていきます。自分ならどう考え、何をするか、多様な考えがあることに気付いたり、自分の子育てをふりかえったりすることになります。
2. 多くの参加者とは異なる少数意見があっても、それを否定せず、全ての意見を尊重します。特定の感想に集約させるなど、無理にまとめる必要はありません。
3. 参加者が日頃の想いや考えを話すことができたか、また、気持ちがりフレッシュでき、子育てに前向きに取り組む気持ちになれたかを問いかけ、確認しましょう。
4. 短編だったため、まだ話し足りない方もいると想定できます。その場合は、別日に実施する親学習など、子育て中の保護者が参加できる集まりを紹介しましょう。

## ● ふりかえりの言葉の例



進行役

たくさん意見が出てきましたね。スマホについて心配や悩みがいろいろありますね。共感できるお話がたくさんあったのではないのでしょうか？その中で出てきた、他の方がしていることがヒントになるかもしれませんね。